

令和4年度 北海道木材需給実績について(概要版)

1. 概要

- ・ 木材の総需要・総供給量は6,370千m3で、前年度に比べて374千m3減少（対前年度比 94.5%）。
- ・ 道産木材自給率は、前年度より2.0ポイント上昇し、69.9%。

	総計 (千m3)	需 要					供 給		
		製材用 (千m3)	パルプ用 (千m3)	合板等用			道産木材 (千m3)	輸入材 (千m3)	道産木材 自給率
				合板用 (千m3)	未利用材用 (千m3)	その他用 (千m3)			
R3実績	6,744	2,270	2,321	558	1,029	566	4,580	2,164	67.9%
R4見込	6,370	2,181	2,098	489	1,085	517	4,450	1,920	69.9%
R4実績	6,370	2,181	2,098	489	1,085	517	4,450	1,920	69.9%
R4実績 ／R3実績	94.5%	96.1%	90.4%	87.6%	105.4%	91.3%	97.2%	88.7%	2.0p上昇

2. 需要量及び供給量の内訳

- ・ 需要については、製材用が2,181千m3と令和3年度より89千m3減少、パルプ用は2,098千m3で223千m3減少、合板用は489千m3で69千m3減少、未利用材用は1,085千m3で56千m3増加。
- ・ 供給については、道産木材が4,450千m3で令和3年度より130千m3減少、輸入材は1,920千m3で244千m3減少。

		R4実績 (千m3)	R3実績 (千m3)	R4 - R3 (千m3)	R4 / R3	主な要因	
需 要 量	製材用	2,181	2,270	▲ 89	96.1%	・ 道産カラマツ原木消費量の減少 ・ 製材輸入量の減少	
	パルプ用	2,098	2,321	▲ 223	90.4%	・ 道産原木消費量の減少 ・ 広葉樹チップ輸入量の減少	
	合 板 等 用	合板用	489	558	▲ 69	87.6%	・ 道産カラマツ原木消費量の減少 ・ 広葉樹合板輸入量の減少
		未利用材用	1,085	1,029	56	105.4%	・ エネルギー利用量の増加
		その他用	517	566	▲ 49	91.3%	・ 道産原木消費量の減少（移出等）
供 給 量	道産木材	4,450	4,580	▲ 130	97.2%	・ 道産原木供給量の減少（製材、チップ等）	
	輸入材	1,920	2,164	▲ 244	88.7%	・ 製品輸入量の減少（チップ、合板等）	